

道連ニュース

2025年3月号 No.219

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

北海道まるごとカレーパン

『11,208個』を販売、



ギネス世界記録™
を達成！

オープン30分前には長蛇の列

協同組合ネット北海道は2025年2月8日(土)、さっぽろ雪まつり会場において、ギネス世界記録に挑戦。「北海道まるごとカレーパン」11,208個を販売し、ギネス世界記録として認定されました。

寒い中、長蛇の列にも関わらずご購入いただきま

した多くの皆様に、厚く御礼申し上げます。

この取り組みは、国際協同組合年（2025年）に、協同組合が連携のうえ、北海道の農畜産物と水産物を存分に使用したカレーパンを開発・販売し、世界一を目指す挑戦を通じて、道産食材の魅力や協同組合が果たす役割の発信を目的に始めたものです。

北海道まるごとカレーパンは、ギネス世界記録達成を契機に、道産食材と協同組合連携の象徴として、巣立っていきます（コープさっぽろの店舗にて販売）。



ギネス世界記録達成 表彰式

記録名：

8時間に売れたカレーパンの最多個数

正式英語記録名：

Most curry bread sold in eight hours

達成日：

2025年2月8日(土)

場所：

2025さっぽろ雪まつり

北海道から全国へ！

協同組合ネット北海道が 連携の重要性を発信！



2024年度「都道府県協同組合連携組織 全国交流会議」が2月6日にオンラインで開催され、全国から約85名が参加しました。北海道、神奈川県、岐阜県、愛媛県より協同組合連携事例を報告、北海道からは「協

同組合ネット北海道～連携の力で北海道を創る～」と題し、北海道生協連 岸本事務局長より取り組み紹介をさせていただきました。

●北海道から多様な連携事業と若者世代への協同組合連携企画の開催について

協同組合ネット北海道は、毎月開催される事務局会議や「独自事業」「あいのり事業」といった取り組みを積極的に展開し、北海道大学との連携による協同組合に関する寄付講座を開講や、将来の協同組合人材の確保に向けた協同組合合同就職説明会など、若者世代



<企画名>

2024年度 都道府県協同組合連携組織全国交流会議

<主催>

日本協同組合連携機構 (Japan Co-operative Alliance)

<日時>

2025年2月6日(木) 13:00～16:30

<開催目的>

- 協同組合間連携の好事例を紹介し、参加者が各県での取り組みのヒントを得る機会とする。
- 都道府県協同組合連携組織間の情報交換・交流を促進し、関係づくりの場を提供する。

への協同組合教育を推進する取り組みについて報告し、多くの質問が参加者よりあがりました。

●全国各地の先進的な取り組み事例も紹介

会議では、神奈川県、岐阜県、愛媛県からもそれぞれの協同組合連携事例が発表されました。神奈川県では組織間の情報交換や協同組合の認知度向上を目的とした活動が、岐阜県ではJAと生協の包括連携協定が報告されました。愛媛県は大学生との協力を通じて協同組合への理解を深める活動を行い、若い世代の協同組合への関心を高めることに成功している報告がされました。

●クロストークで深掘りされた地域間連携の可能性

事例発表後、法政大学大学院の伊丹教授によるクロストークが行われ、各地域の取り組みがより深く掘り下げられました。参加者は地域間の協力強化に向けた様々なアイデアを交換し、今後の連携強化に向けた展望を共有しました。クロストークを通じて、参加者からは国際協同組合年に向け、全国各地で協同組合連携の取り組みが広まることへの期待感が感じられました。

2025

国際協同組合年

キックオフイベント開催

この度、「2025 国際協同組合年をどのように捉え、進めるのか」をテーマに、日本とアジア太平洋地域における 2025 国際協同組合年キックオフイベントが2月19日(水)東京・青山の国連大学においてオンライン含む750名の参加で開催されました。

開会あいさつ：山野徹 IYC2025全国実行委員会代表 (JCA会長/JA 全中会長) の開会挨拶ののち、グテーレス国連事務総長ビデオメッセージ紹介、首相挨拶 (代読：橋 慶一郎内閣官房副長官) 森山裕協同組合振興研究議連会長の挨拶がありました。アリエル・グアルコ ICA会長ビデオメッセージ等協同組合関

係者の挨拶のあと、イラン・マレーシアの協同組合、大学生協、茨城県・島根県の協同組合連携組織の活動計画の紹介、「私にとってのIYC2025」動画により、日本の農業協同組合、生活協同組合、漁業協同組合、森林組合、労働者協同組合、労働金庫、ネパール、フィリピンの協同組合から発言が紹介されました。

最後にIYC2025比嘉 全国実行委員会より①発信するーIYC2025ロゴの活用 (JCAホームページよりダウンロード) 第103回国際協同組合デー記念中央集会 (2025年7月5日・東京国際フォーラム) を広く参加をよびかける②学ぶー協同組合のアイデンティティに関するICA声明の学習「社会課題の解決に向けた協同組合の貢献と課題を明らかにする連続座談会・シンポジウム (仮称)」への参加③実践するー協同組合の振興を求める国会決議要請、各協同組合が今年を契機とする活動をスタートさせる。などの行動提起がありました。